その1

|  |
| --- |
| 建築設備概要書 |
| 　 | 区分 | 概要 | 　 |
| 給排水設備 | 給水源 | 水道水・井水・排水再利用水・(　　　　) |
| 給水方式 | 直結方式・直結増圧方式・受水タンク方式(受水タンク・高置タンク) |
| 受水タンクの設置場所 | 地下室内(B　　F)・地上階室内(　　F)・屋外 |
| 排水方法 | 公共下水道・合併処理浄化槽(放流・くみ取り・地下浸透)・(　　　) |
| 排水槽 | 汚水槽(　　箇所)・雑排水槽(　　箇所) |
| 合併処理浄化槽 | (　　　　)人槽・メーカー及び型式番号(　　　　　　　　　　　　　) |
| 屋内給水管 | 鋼管・鋳鉄管・VP管(最大　　A)・耐火二層管・(　　　) |
| 屋内排水管・通気管 | 鋼管・鋳鉄管・VP管(最大　　A)・耐火二層管・(　　　) |
| 阻集器を必要とする場所 | 駐車場・厨房・(　　　　　　) |
| 換気設備 | 換気設備の種類 | 中央方式・各階方式・個別方式・(　　　　) |
| 機械換気を必要とする室 | 無窓居室・屋内駐車場・集会場・劇場・火気使用室・(　　　　　) |
| シックハウス対策換気設備 | (1・2・3)種換気・(　　　　　) |
| 熱源の種類 | 都市ガス・LPG・電気・灯油・地域冷暖房・(　　　) |
| 火気使用室の室名 | 台所・給湯室・厨房・熱源機械室・(　　　　) |
| 火気使用室の給気口の種類 | ガラリ・給気ダクト・給排気二層ダクト・(　　　　) |
| ダクトの材質 | 火気使用室 | 居室 | 便所 | 浴室 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 給湯器の種類 | ガス給湯器(屋外式・開放式・半密閉式・密閉式)・電気温水器・(　　　) |
| 12kW／hを超える燃焼器具の排出方法 | 煙突・排気フード・(　　　　　) |
| ガスの配管設備安全対策 | ヒューズコック・ネジ接合・(　　　　　) |
| 防災設備 | 排煙設備の種類 | 自然排煙・機械排煙・送風機を設けた排煙・加圧防排煙・告示(　　　　　) |
| 排煙機の予備電源等の種類 | 発電機・ACモーター併用エンジン・(　　　　) |
| 非常用照明装置の予備電源の種類 | 電池内蔵・電源別置・蓄電池併用発電機・(　　　　) |
| 非常用進入口の赤色灯 | 有・無 |
| 避雷設備 | JIS　A　4201―2003 | 受雷部システム | 受雷部配置 | 回転球体法・保護角法・メッシュ法 |
| 受雷部構成 | 突針・水平導体・メッシュ導体 |
| 引下げ導線システム | 引下げ構成 | 専用引下げ・構造体利用・金属工作物代用 |
| 水平環状導体 | 無・有：導体施設・有：構造体使用 |
| 接地システム | A型接地極 | 放射状・垂直・板状 |
| B型接地極 | 環状・網状・基礎 |
| 構造体利用接地極 |
| JIS　A　4201―1992 | 受雷部 | 突針・むね上げ導体・突針むね上げ導体併用 |
| 引下げ導線 | 避雷導線・簡略法(鉄骨溶接・鉄筋溶接) |
| 接地極 | 銅板・棒(材質　　　外径　　　長さ　　　)・省略 |
| 延焼のおそれのある部分の措置 | FD・鋼製ベントキャップ(100φ以下)・(　　　　　　) |
| 防火区画貫通部における防火ダンパーの種類 | 温度ヒューズ・連動ダンパー(煙感知器・熱感知器) |
| 防火戸等の閉鎖方式の種類 | 階段区画等 | 常閉・連動(煙感知器) |
| 面積区画 | 常閉・連動(温度ヒューズ・煙感知器・熱感知器) |
| 異種用途区画 | 常閉・連動(煙感知器) |
| ケーブル・冷媒配管等の防火区画貫通部の措置 | 大臣認定工法(認定番号　　　　　　　　　　　　　　　　)・施行令・告示 |
| 建築基準法に基づく中央管理室 | 有・無 |
| 　 |

(日本産業規格A列4番)

その2

|  |
| --- |
| 　 |
| 　 | その他 | 避難安全検証法の適用 | 無・区画避難安全検証・階避難安全検証(　　階)・全館避難安全検証 | 　 |
| 避難安全検証法により適用しない規定 | 　 |
| 昇降機 | 種類 | エレベーター(　　基)・エスカレーター(　　基)・［　　　　(　　基)］ |
| 確認年月日・確認番号 | 　　　年　月　日　第　　　号 |
| 施工者 | 　 |
| (注意)　概要欄のうち、該当する事項を○で囲み、適宜必要事項を記入してください。 |

(日本産業規格A列4番)